

## 1 単元名「でんでん村・ほたるの里を伝えよう」 教材名「ポスターを作ろう」

### 2 単元の目標

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。  
〔知識・技能〕（（2）イ）
- ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕B（1）ウ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。  
〔学びに向かう力・人間性等〕

### 3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「構成や表現を工夫して、でんでん村・ホタルの里を伝えるポスターを作る活動」を位置づけた。ポスターは、壁等に掲示することを前提として作るために、写真やイラストが大きく描きだされ、そこにキャッチコピーやメッセージなどの文字情報が加えられる。そのため、相手や目的に応じて、言葉や情報を精選して書く必要がある。

これらの特徴から、この言語活動を位置付けた学習活動を展開することで「目的や意図に応じて、書き表し方を工夫したりすることができる」という目標を達成できる。

### 4 単元について

#### （1）教材観

本単元は、伝えたい相手や目的、内容を考えて構成や表現を工夫したポスターを作る学習である。ポスター作りを通して、相手や目的を意識した構成を考え、自分が伝えたい内容を相手に効果的に伝えるための表現を工夫して書く力を身につけさせたい。

また、自分たちの思いを伝える手段としてポスターを選んで、実際に掲示することによって、他の人に見てもらいやすくなり、活動後の児童たちの達成感にもつながっていくと考える。

#### （2）児童の実態

本学級の児童は、自分の考えや学んだことなどを話し合うことに対して意欲的に取り組むことができる。しかし、それを文章にして書くことには苦手意識を持つ児童が多くいる。特に、いくつかの情報をわかりやすくまとめたり、短く簡単な文で書いたりすることには課題がある。

また、苦手な学習内容に対して消極的になってしまう傾向もある。そこで児童に慣れ親しみがあり、「町じまんをすいせんしよう」の学習でも「七小じまん」として多くの児童が挙げたでんでん村・ほたるの里を題材とし、自ら取り組む児童の姿を狙った。

#### （3）指導観

第一次では、教科書に例示されているポスターをもとに、ポスターの特徴について学習していく。構成や表現に工夫が凝らされており、その工夫は伝えたい相手や目的によって考えられていることに気付かせ、今後の活動の参考にさせていく。

第二次では、でんでん村・ほたるの里を伝えるためのポスターを作成する。グループごとに担当学年を設定することで、伝える相手を常に意識しながら活動することができるだろう。他のグループと交流する機会を設けることで、自分たちのポスターが目的や意図にあっているか振り返りながら活動させる。さらに、ポスターの中には、改めて発見した魅力と自分たちの思いが伝えられるようなキャッチコピーを書かせることによって、効果的で簡潔な文を作る機会をつくる。本時は、でんでん村・ほたるの里の魅力について、自然観察会での体験の中から、担当学年に向けて何を重視して伝えたいか考えていく。ピラミッドチャートを用いて、発見した多くの魅力の中から、自分たちのでんでん村・ほたるの里への思いを合わせて、どの情報を載せるか焦点化していく。

第三次では、できあがったポスターを学級・学年間で見合う時間を設定する。その中で、自分の活動を振り返り、今後の学習にいかせる点を考えさせていく。また、実際に他学年に掲示してもらうことで、ポスターの良さを改めて感じさせていきたい。

### ○研究主題との関連について

本単元では、主体的な学びへの手立てとして、総合的な学習の時間と関連付けた学習活動を設定した。慣れ親しみ、思い入れのあるでんでん村・ほたるの里を蘇らせる活動の中で、改めて見つけた魅力を伝える活動には、意欲的に取り組むことができると考える。さらに、担当学年を設定することによって、伝える相手が明確になり、書き表し方や構成の工夫を自ら考えようとするだろう。

また、対話的な学習への手立てとして、グループでの学習を取り入れる。グループで1枚のポスターを作るためには、話し合う必要性が生まれる。さらに、学習の中で、他の学年を担当するグループと互いの状況を報告したり助言したりする時間を設定する。それにより、児童が互いに目的に応じたポスターの工夫を話し合う機会が生まれるだろう。他のグループとの交流は、自らのグループのポスターを振り返る機会ともなり、よりよいポスターを作る意欲の向上も狙える。ポスター完成後は、同学年だけでなく他の学年からも感想を伝えてもらうことで、今後の学習へつなげる振り返りを行えるようにしていく。

### ○他教科との関わり

総合的な学習の時間では、「蘇らせよう！でんでん村・ほたるの里」というテーマで学習を進めている。1学期にでんでん村・ほたるの里の現状を確認した児童の思いを中心に活動を進めており、草刈りなどによってほたるの里の池に水を流すところまで環境を戻すことができた。そこで、柏環境ステーションの方に来ていただき、自然観察会を行い、その中で再発見したでんでん村・ほたるの里の魅力や思いを伝えるために本単元を設定している。

今後は、自分たちが蘇らせたでんでん村・ほたるの里を引き継ぎ、より発展させていくための活動を行っていく。自分たちの活動や思いを後輩や地域の方々へ伝えるために、ポスターや提案文を書いたり、資料を用いた発表会を行ったりしていきたい。

## 5 単元の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| ①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。<br>(2)イ | ①「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。<br>(B(1)ウ)<br>②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。<br>(B(1)エ)<br>③「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。<br>(B(1)オ)<br>④「話すこと、聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。<br>(A(1)オ) | ① 粘り強くポスター全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって構成や表現を工夫して、ポスターを作ろうとしている。 |

## 6 指導と評価の計画（7時間扱い）

| 学習過程                | 時間      | 学習内容・学習活動   | 評価規準・評価方法等                                  |
|---------------------|---------|---|---|
| 一次<br>(見いだす)        | 1       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターの特徴について考え、確認する。</li> <li>○学習計画とルーブリックを作成する。</li> </ul>  | [知識・技能] ①<br><br><ノート・発言>                   |
| 二次<br>(自分で<br>取り組む) | 2       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターを書く担当学年を決め、どんな思いを伝えたいのか考える。</li> <li>・学年によって伝える内容や書き表し方が異なることを確認する。</li> </ul>                          | [主体的に学習に取り組む態度]<br><ノート・発言>                 |
| (広げ<br>深める)         | 3<br>本時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターの目的や相手に合わせて書く内容を選び、キャッチコピーを考える。</li> <li>・ピラミッドチャートを使用する。</li> <li>・違う担当学年のグループと交流し、意見交換をする。</li> </ul> | [思考・判断・表現] ④<br><ノート・発言>                    |
|                     | 4       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターの構成を考える。</li> <li>・写真や図、キャッチコピーの位置や書き表し方を考える。</li> <li>・書く分担分けを行う。</li> </ul>                           | [思考・判断・表現] ②<br><グループトーク・発言>                |
|                     | 5       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターを作成する。</li> <li>・目的や意図に合っているか考えながら作成していく。</li> </ul>  | [思考・判断・表現] ①<br><成果物><br>[知識・技能] ①<br><成果物> |
|                     | 6       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターを仕上げる。</li> <li>・個人で分担した部分を読み合い、推敲する。</li> </ul>  | [思考・判断・表現] ③<br><成果物>                       |
| 三次<br>(まとめ<br>あげる)  | 7       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返る。</li> <li>・掲示したポスターについて届いた感想をふまえて、自分たちの活動を振り返り、今後の学習にどう生かしていくのか考えさせる。</li> </ul>                       | [主体的に学習に取り組む態度] ①<br><ノート・発言>               |

並行学習  
総合的な学習の時間  
合的な学習の時間  
「蘇らせよう!でんでん村・ほたるの里」

## 7 本時の指導 (3/7)

### (1) 本時の目標

- ・「話すこと、聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

[思考力、判断力、表現力等] A (1) オ

### (2) 展開

| 過程<br>時配                 | 学習内容と学習活動   | 指導・支援 (○) と評価 (◇)   | 備考                  |
|--------------------------|---|---|---------------------|
| 導入<br>(見いだす)<br>5分       | 1 本時の課題をつかむ。<br>・前時に決めた担当学年と、それによって伝えたい思いや書き表し方が異なることを確認する。   | ○ 学習計画の掲示を示しながら、学習問題について、見通しがもてるようにする。  | 学習計画掲示物<br>Jamboard |
| 思いが伝えられるようなキャッチコピーを考えよう。 |   |   |                     |
| 展開<br>(自分で取り組む)<br>15分   | 2 キャッチコピーを考える。<br>・ポスターの例やループリックを確認し、どのようなキャッチコピーを目指すか振り返る。<br>・個人で考える。<br>・グループの中で、考えを出して話し合いながら、ある程度の形を作っていく。 | ○ 文章で作ることが難しい児童は、キーワードを考えるだけでもよいことを伝える。<br>○ 伝える相手に合わせた言葉になっているか、思いが伝えきれるのか評価しながら話し合うように伝える。  | ループリック<br>ホワイトボード   |
| (広げ深める)<br>20分           | 3 他の学年の担当者と意見交換をする。<br>・選んだ情報やキャッチコピーについて、伝えたい相手や目的に沿っているか互いに評価する。  | ○ もらった助言を必要に応じてメモさせる。<br>○ 互いの状況を見て、アイデアを出すのか、よりよいものに仕上げるのか判断して話し合うように伝える。  | ホワイトボード<br>Jamboard |
|                          | 4 自分のグループにもどり、情報やキャッチコピーを再検討する。<br>・もらった助言や他グループのアイデアを参考に考える。<br>・暫定で一番よいものを、Jamboard に記入する。                    | ○ 今日考えた中で、一番相手に合っていて、思いを伝えられる言葉を選ぶように伝える。   |                     |
| まとめ<br>(まとめあげる)<br>5分    | 5 まとめをする。<br>・本時の学習を振り返る。   | ○ どのようなことを考えながら、キャッチコピーを作ったのか、話し合いの時に気をつけたことは何なのかについて助言する。<br>◇「話すこと、聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 [思考・判断・表現]<br><ノート・発言> |                     |

(3) 板書計画 (ICT 機器活用も含む)

ふどんなことを考えながら活動したか。

① 担当学年  
② 伝えたい思い  
③ 考えているキャッチコピー

学  
思  
考  
が  
伝  
え  
ら  
れ  
る  
よ  
う  
な  
キ  
ャ  
ッ  
チ  
コ  
ピ  
ー  
を  
考  
え  
よ  
う。

でんでん村・ほたるの里を伝えよう。

(4) 評価

| A  | B  | C (手立て)  |
|--|--|--|
| <p>目的に応じたキャッチコピーを作るため、自分の考えと友達からの意見をまとめながら、話し合うことができている。</p> | <p>目的に応じたキャッチコピーを作るため、自分の考えを話したり、友達の意見を聞いたりすることができている。</p> | <p>友達の話し方を参考にして、自分の考えを伝えるように助言する。<br/>友達の意見を聞いて、よいと思ったことを記すように伝える。</p> |